



2025 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 クリナップ株式会社
代表者 代表取締役 社長執行役員 竹内 宏
(コード番号 7955 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役 専務執行役員 川田 和弘
(TEL 03-3894-4771)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 5 月 8 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する中間純利益 (百万円)	1 株当たり 中間純利益 (円 銭)
前回発表予想（A）	67,000	400	650	350	9.70
今回修正予想（B）	65,400	1,350	1,660	1,000	27.73
増減額（B－A）	△1,600	950	1,010	650	
増減率（％）	△2.4	237.5	155.4	185.7	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2025 年 3 月期第 2 四半期）	63,531	379	616	256	7.11

2. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想（A）	138,000	2,500	3,000	1,850	51.30
今回修正予想（B）	134,500	2,500	3,000	1,850	51.30
増減額（B－A）	△3,500	0	0	0	
増減率（％）	△2.5	0.0	0.0	0.0	
（ご参考）前期実績 （2025 年 3 月期）	129,987	2,070	2,621	1,719	47.67

3. 修正の理由

(1) 第 2 四半期（中間期）

建築費高騰等により住宅取得マインドが鈍化し、新設住宅着工戸数が低水準にて推移した状況により、売上高が前回業績予想数値を下回る見通しとなりました。一方、利益面では、販売価格改定効果の顕在化、原価低減の施策推進、販管費の増加抑制等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益とも、前回業績予想数値を上回る見通しとなりました。

(2) 通期

通期の見通しにつきましては、新設住宅着工戸数の減少が想定以上に長引いていることに加え、水まわりリフォーム市場の動向についても不透明な状況で推移するものと思われ、これに伴い、下期の売上減少や粗利率の低下が見込まれること、さらには上期に比べ人件費等の販管費の増加も見込まれます。

このような中、当社グループは、2025 年 9 月にリニューアルした主力の中高級価格帯システムキッチン「STE D I A（ステディア）」などを中心にプロモーションの強化やショールーム活用による需要喚起に注力してまいります。さらに原価低減、コスト削減にも引き続き努めますが、市場動向及び当第 2 四半期（中間期）の業績を踏まえ、売上高の修正をいたします。なお、下期の売上粗利と販管費の状況に応じ通期の利益面においては据え置きといたします。

(注)本資料に記載されている業績見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上